

ペプチドで元気を世界へ

# FunPep Report

2023年12月期(第11期) 中間期  
2023年1月1日~2023年6月30日

株式会社ファンペップ

証券コード：4881

皆様へ

## FPP003の治験結果によるヒトでの抗体誘導の確認、 FPP004Xの前臨床試験入り達成 ペプチドで元気溢れる生活を世界に提供します。

代表取締役社長 三好 稔美



皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年度上半期、当社は2つの大きなマイルストーンを達成できました。

1つ目は、FPP003の豪州での第I/IIα相臨床試験の結果を報告できました。その内容は、安全性及び忍容性が示されるとともに、抗IL-17A抗体（標的タンパク質IL-17Aに対する抗体）の抗体価の持続的な上昇（陽性率 約8割）が確認されました。これは、当社の抗体誘導ペプチド（ペプチド治療ワクチン）が慢性疾患の標的分子である「自己タンパク質」（IL-17A）に対して抗体誘導することをヒトで初めて示したものです。本結果により、当社の抗体誘導ペプチド創薬のプラットフォーム技術「STEP UP」の創薬コンセプトは確かなものであることが示されました。

2つ目としては、花粉症（季節性アレルギー性鼻炎）を対象疾患とする抗体誘導ペプチド開発の中で、標的タンパク質 IgE (Immunoglobulin E) に対する抗体誘導ペプチドの新規開発化合物「FPP004X」を決定することができました。効果の持続期間が長いというワクチンの特長により、FPP004Xは、花粉症のシーズン（飛散時期）前に投与すればシーズンを

通して症状を緩和できる、患者様にとって利便性の高い新しい治療選択肢を提供できます。FPP004Xは前臨床試験を開始しており、2025年中の臨床試験入りを目指します。

その他の創薬プロジェクトとしては、SR-0379の次相臨床試験の検討、FPP005の前臨床試験に加え、基礎研究段階の疼痛治療薬及び脂質異常症治療薬のテーマに想定以上の進捗がみられました。

また、創薬以外の事業についても、フェムテックに関する経験、知識の豊富な株式会社サンルイ・インターナショナルとの間で、機能性ペプチドを配合したフェムテック化粧品に関する共同開発契約を締結いたしました。創薬事業以外の事業については、当面は子会社であるアンチエイジングペプチド社を通じて他社との共同開発に邁進し、経験を積み上げていく予定です。

当社は創立10年を迎え、新たにビジョン、ミッション、バリューを全社員で考え、設定いたしました。ペプチドの可能性を信じ、健康の源である「元気」を世界中の人へ届けたいと思います。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス

# 次世代ワクチン「抗体誘導ペプチド」、臨床試験で抗体価上昇を確認

インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチンなどの従来のワクチンは、感染症に罹患する前に、病気にかからないように、あるいはかかって軽くすむように投与する「予防」ワクチンです。

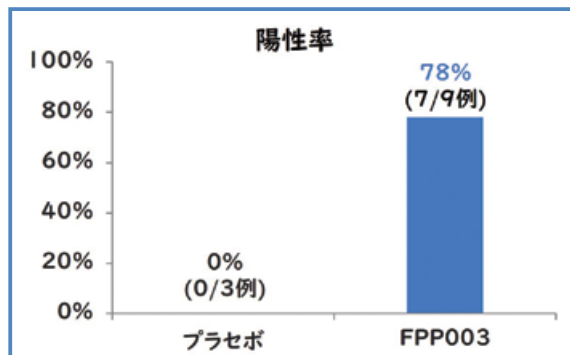
一方、当社が開発に取り組んでいる次世代ワクチン「抗体誘導ペプチド」は、病気を発症した後に使い、病気を治す、あるいは症状を改善したり悪化をおさえるために使用する「治療」ワクチンです。

治療ワクチンの標的であり、病気の原因となるすでに体内に存在する自己のタンパク質に対して、通常は抗体が産生されませんが、当社独自の機能性ペプチドAJP001を用いることにより、抗体誘導ペプチドはすでに体内に存在する病気の原因のタンパク質に対して抗体産生を可能にしています。

次世代ワクチン「抗体誘導ペプチドFPP003」の第I/II相臨床試験において、FPP003投与による抗体価上昇が確認されました。高用量コホートの約8割の症例で確認された抗体価上昇は、観察期間終了時点（第120日）まで持続しました。

本臨床試験結果は、当社の抗体誘導ペプチドが病気の原因となる体の中の自己のタンパク質に対して抗体誘導することをヒトで初めて示したものであり、次世代ワクチン「抗体誘導ペプチドプロジェクト」の実用化に向けて、大きな一歩となりました。

抗体誘導ペプチドFPP003の  
抗体価上昇を確認



(注) 高用量コホートの治験薬の3回投与後4週間時点(第60日)。感染症ワクチンの陽転判定基準を参考にベースラインと比較して4倍以上に抗体価が上昇した症例を「陽性」と判定。

## 一般投資家向け会社説明会のご案内

当社は、2023年10月4日（水）19:00より、株式会社SBI証券ホームページにて、オンライン会社説明会を開催いたします。当社の事業内容や今後の成長戦略についてご説明申し上げますので、ぜひご視聴ください。

【事前質問受付先】 [info-fpp@funpep.co.jp](mailto:info-fpp@funpep.co.jp)



右記のQRコードからアクセスできます。

「QRコード」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。



又は、

<https://www.sbisec.co.jp/>

SBI証券ホームページのトップページ「セミナー」よりご覧ください。

## 決算情報 (2023年12月期 第2四半期)

(単位：百万円)

### 連結損益計算書

事業収益	0
事業費用	623
(内、研究開発費)	(451)
営業損失(△)	△622
経常損失(△)	△589
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△585

### その他主な経営指標等

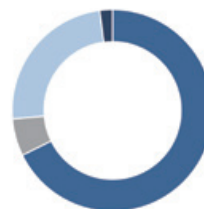
現金及び預金	2,255
株主資本	2,622
総資産額	2,849
自己資本比率	92.04%

## 株式の状況 (2023年6月30日現在)

発行可能株式総数	56,000,000株
発行済株式総数	24,086,500株
株主数	9,331名

## 所有者区分別株式数 (2023年6月30日現在)

(単位：1単元の株式数 100株)



個人・その他	162,984 (67.69%)
金融商品取引業者	14,400 (5.98%)
その他の法人	58,462 (24.28%)
その他	4,935 (2.05%)
合計	240,781

(注) 上記以外に単元未満株8,400株があります。

## 会社概要 (2023年6月30日現在)

商号	株式会社ファンペップ (英名：FunPep Company Limited)	
設立	2013年10月11日	
資本金	2,732,739,555円	
従業員	15名	
役員	代表取締役社長	三好 稔美
	取締役 研究開発部長兼CSO	富岡 英樹
	取締役 管理部長兼CFO	林 毅俊
	取締役(社外)	柴木 憲和
	取締役(社外)	采 孟
	取締役(社外)	久保田 洋
	常勤監査役(社外)	堀口 基次
	監査役(社外)	南 成人
	監査役(社外)	眞鍋 淳也

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 フリーダイヤル：0120-782-031

(受付時間：土・日・休日を除く9:00～17:00)

公告方法 電子公告により行う

※ ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。

株式会社ファンペップ

証券コード：4881

<https://www.funpep.co.jp/>